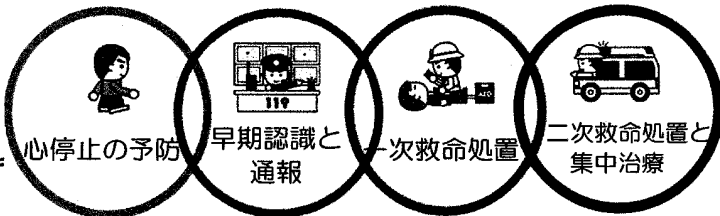


つなげよう救命の輪！

きゅうめい

わ

西はりま消防組合



◎ 1つめの輪【心停止の予防】

小児においては、外傷・溺水・窒息、乳児においては、SIDS（乳児突然死症候群）の事故防止。成人の“急性心筋梗塞”“脳卒中”の初期症状に気付いて、早期に救急車を要請する。（早期治療開始）

◎ 2つめの輪【早期認識と通報】

反応のない人を見たらただちに心停止を疑い、救急隊やAEDが少しでも早く到着するように努める。119番通報をおこなうと電話を通して心肺蘇生などの指導を受けることができる。

◎ 3つめの輪【一次救命処置（心肺蘇生法とAED）】

質の高い心肺蘇生によってAEDの効果を最大にするとともに、脳に後遺症を残さない。

◎ 4つめの輪【二次救命処置と集中治療】

救急救命士や医師の二次救命処置、心拍が再開すれば専門的な集中治療により社会復帰を目指す。

【1】反応の確認 ※安全が確認できたら

反応の確認☞ “もしもし、大丈夫ですか？”
（大声で3回、肩をたたきながら） “反応なし”
※倒れている人の顔に近づきすぎないように注意する



【2】助けを呼ぶ ※大声で

“誰か来てください！人が倒れています”



【3】119番通報・AED

“この人反応がありません”
“あなた119番通報をお願いします”
“あなたAEDを持ってきてください”

人が倒れていることを119番通報してください

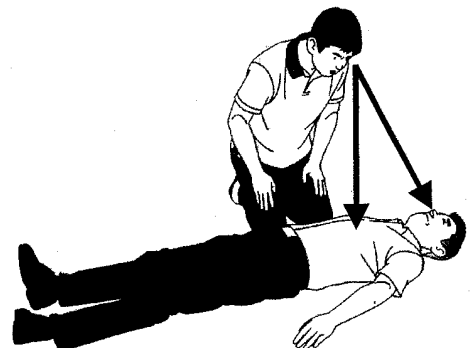
AEDを持ってきてください



【4】呼吸の確認（心停止の判断）

呼吸の確認☞ “1、2、3、4、5”
“呼吸なし”

※死戦期呼吸（普段どおりではない呼吸）
※倒れている人に近づきすぎないように注意する



119番通報すると、指令員より救助者が行うべきことを指導してくれます

※裏面へ続く